

東日本大震災 沖縄民医連 支援ニュース

第15号 2011年4月12日(火) 電話:098-833-3397

◆震災から1ヶ月 息の長い支援を!◆

余震が続き、停電が繰り返し起きています

第5陣のみなさん、さっそく支援体制に

高嶺です。4月8日の余震のため旧館が被害に会い1週間は停電が続くそうです。ヒーターもついていません。我々のベースキャンプである9階も安全のため夜は懐中電灯を持たない者は立ち入り禁止区域です。

當山です。朝のミーティングまで時間があるので坂総合病院内を見て回っています。



●にじくりからの千羽鶴も対策本部入り口にさげてあります。

●ロビーから二階へ登る階段の踊り場には、沖縄タイムスに掲載された上原和博先生の記事も張り出されています。



緊急学習会

原発の「安全神話」と内部被曝

- 4月26日(火)17:30~
- 沖縄協同病院講堂(3階)

<講師> 矢ヶ崎克馬さん

(琉球大学名誉教授・県原水協代表理事)

原発の「安全神話」が崩れ、重大事態が続いています。政府と電力会社によって隠され続けてきた内部被曝について明らかにします。放射能被害から身を守るためにいま何が求められているか、医療の現場で必要なことなどについて学

第5陣 黒島安将さん(沖協:リハ)のお父さんから激励のメール

県連のホームページで、ご自分の息子さんが第5陣支援隊で支援にいらしていることを知った黒島さんのお父さんから、「240年前の石垣島の津波の教訓を今こそです」のコメントと激励のメールが届きました。

今回の民医連の支援隊の活動に第1陣からの活動支援に心から敬意を表します。

南の地からの支援は、陣営のみならず一行の今後の現場において多くの示唆を与えてくれるものと信じます。

(中略)

引き続き貴団体をはじめ関連機関のご指導をお願い申し上げます。ほんとにありがとうございました。胸をなでおろしています。

スタッフの皆様によろしくお伝えください
黒島 健(前 石垣市職員)